

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT4602		
科目名	ゼミナールⅡ		
担当教員	小谷 賢		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	水 4		
講義室	1313	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 1-E 学識・専門技能 D P 4-F 探求力・課題解決能力 D P 1-I 理解力・分析力 D P 7-C 他者理解・倫理観・公共心 D P 7-L 協同力・牽引力 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E 1 学識と専門技能（20%） F 1 探求と論拠（20%） I 1 理解・分析と読解（20%） J 2 創造的思考（10%） C 1 倫理的思考・社会認識（10%） L 1 チームワーク（10%） M 1 統合的・応用的学修（10%）		
教員の実務経験	2004年から2016年まで防衛省防衛研究所において、安全保障や戦史の研究、教育等に携わった。その間、防衛研究所企画室情報発信調整官、英国王立防衛安保問題研究所（RUSI）客員研究員、防衛大学校講師などを歴任。		
成績ターゲット区分	成績ターゲット区分 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	危機管理とその基礎となる法学に関する専門的な研究活動を実践するために、必要な研究の手法を学び、学生自らが個人の研究テーマを設定し、研究論文を執筆するための指導を行う。学生自らが危機管理に関する問題を発見し、仮説を構築し、自力で仮説を検証することにより、問題の解決につなげ、危機管理能力を養う。ここでは問題意識を確立し、卒業論文に繋がる個人研究のテーマを決定すると同時に、先行研究を収集して専門領域に関する知岸を獲得する授業形態は演習により行う。 授業形態は演習形式により行います。なお、場合によっては授業を補完・代替するためオンライン授業（オンデマンド型・ライブ配信型）を取り入れることもあります。		
授業の趣旨	■ 副題 グローバル領域における様々な課題について探求する。 ■ 授業の目的 自分で問題を見つけ、課題を設定し、仮説を立てて論理的に説明できるようになる。 ■ 授業のポイント 危機管理に関するテーマを選定し、それに関する資料を収集し、仮説を立て論理的に説明する能力を養う。パワーポイントによる報告と論文の執筆が最終目的となる。		

総合到達目標	旺盛な関心をもって危機管理学及びそれを支える諸科学における重要問題を探求し、これを科学的な手法によって分析し、又は論理的に解釈して知見を見出すとともに、その成果をレジюмеや論文等で適切に表現することができる。	
成績評価方法	報告（50%）、討論への貢献（40%）、出席（10%）。報告は最低1回行ってください。きちんとした日本語の使用、簡潔なレジюме（A4 1-2枚）、もしくはパワーポイント、参考文献の適切な使用等から評価します。報告者以外は討論者ですので、必ずゼミ中に一度は発言を行うよう心がけてください。ゼミでは「発言」することが重要な評価基準になります。フィードバックについてはそのゼミの最後に教員から、報告と討論についてコメントします。 コンピテンス：B1, C1, E1, F1, F2, G1, H2, I1, K1, K2, L1, M1。	
履修条件	選択必修のため特になし。	
履修上の注意点	少人数で行うため、できる限り出席し、発言することが重要になってきます。	
授業内容	回	内容
	1	共同研究①：三茶祭での研究発表のため、ゼミ全体の共通テーマを策定し、幾つかの班に分かれて共同リサーチを行います。コンピテンス：B1, C1, E1, F1, F2, G1, H2, I1, K1, K2, L1, M1。 予習（120分）：共通テーマについて考えてくる。 復習（120分）：班の中で、それぞれの分担を決めてくる。
	2	共同研究②：三茶祭での研究発表のため、ゼミ全体の共通テーマを策定し、幾つかの班に分かれて共同リサーチを行います。コンピテンス：B1, C1, E1, F1, F2, G1, H2, I1, K1, K2, L1, M1。 予習（120分）：班内で分担したテーマについて、資料収集やリサーチを行う。 復習（120分）：報告用資料の作成に取り掛かる。
	3	共同研究③：それぞれの班による報告会ができるようになる。コンピテンス：B1, C1, E1, F1, F2, G1, H2, I1, K1, K2, L1, M1。 予習（120分）：班による報告の準備。 復習（120分）：他の班から指摘された内容を検討し、報告内容をブラッシュアップする。
	4	共同研究④：それぞれの班による報告会ができるようになる。コンピテンス：B1, C1, E1, F1, F2, G1, H2, I1, K1, K2, L1, M1。 予習（120分）：班による報告の準備。 復習（120分）：他の班から指摘された内容を検討し、報告内容をブラッシュアップする。
	5	共同研究⑤：それぞれの班による報告会ができるようになる。コンピテンス：B1, C1, E1, F1, F2, G1, H2, I1, K1, K2, L1, M1。 予習（120分）：班による報告の準備。 復習（120分）：他の班から指摘された内容を検討し、報告内容をブラッシュアップする。
	6	共同研究⑥：展示資料の作成。それぞれの班が報告した内容を展示物の形にしていくことができるようになる。コンピテンス：B1, C1, E1, F1, F2, G1, H2, I1, K1, K2, L1, M1。 予習（120分）：展示物の構想を練ってくる。 復習（120分）：三茶祭に向け、資料の作成に取り掛かる。
	7	共同研究⑦：反省会。三茶祭での研究発表や展示について、改善点などがあれば皆で意見を出し合う。コンピテンス：B1, C1, E1, F1, F2, G1, H2, I1, K1, K2, L1, M1。 予習（120分）：反省点をまとめておく。 復習：特になし。
	8	個人研究①：卒業論文作成のための個人研究。それぞれが自分の関心のある分野についてレジюмеを纏め、報告を行うことができるようになる。コンピテンス：B1, C1, E1, F1, F2, G1, H2, I1, K1, K2, L1, M1。 予習（120分）：報告者は自分の関心のある事項について調べ、レジюмеを作成し、事前に討論者にメールで配布。討論者は必ず配布物を事前に読んでくる。 復習（120分）：報告者は討論者から指摘された点を調べ直し、より良い内容に仕上げる。
	9	個人研究②：卒業論文作成のための個人研究。それぞれが自分の関心のある分野についてレジюмеを纏め、報告を行うことができるようになる。コンピテンス：B1, C1, E1, F1, F2, G1, H2, I1, K1, K2, L1, M1。 予習（120分）：報告者は自分の関心のある事項について調べ、レジюмеを作成し、事前に討論者にメールで配布。討論者は必ず配布物を事前に読んでくる。

	復習（120分）：報告者は討論者から指摘された点を調べ直し、より良い内容に仕上げる。
10	個人研究③：卒業論文作成のための個人研究。それぞれが自分の関心のある分野についてレジюмеを纏め、報告を行うことができるようになる。コンピテンス：B1, C1, E1, F1, F2, G1, H2, I1, K1, K2, L1, M1。 予習（120分）：報告者は自分の関心のある事項について調べ、レジюмеを作成し、事前に討論者にメールで配布。討論者は必ず配布物を事前に読んでくる。 復習（120分）：報告者は討論者から指摘された点を調べ直し、より良い内容に仕上げる。
11	個人研究④：卒業論文作成のための個人研究。それぞれが自分の関心のある分野についてレジюмеを纏め、報告を行うことができるようになる。コンピテンス：B1, C1, E1, F1, F2, G1, H2, I1, K1, K2, L1, M1。 予習（120分）：報告者は自分の関心のある事項について調べ、レジюмеを作成し、事前に討論者にメールで配布。討論者は必ず配布物を事前に読んでくる。 復習（120分）：報告者は討論者から指摘された点を調べ直し、より良い内容に仕上げる。
12	個人研究⑤：卒業論文作成のための個人研究。それぞれが自分の関心のある分野についてレジюмеを纏め、報告を行うことができるようになる。コンピテンス：B1, C1, E1, F1, F2, G1, H2, I1, K1, K2, L1, M1。 予習（120分）：報告者は自分の関心のある事項について調べ、レジюмеを作成し、事前に討論者にメールで配布。討論者は必ず配布物を事前に読んでくる。 復習（120分）：報告者は討論者から指摘された点を調べ直し、より良い内容に仕上げる。
13	個人研究⑥：卒業論文作成のための個人研究。それぞれが自分の関心のある分野についてレジюмеを纏め、報告を行うことができるようになる。コンピテンス：B1, C1, E1, F1, F2, G1, H2, I1, K1, K2, L1, M1。 予習（120分）：報告者は自分の関心のある事項について調べ、レジюмеを作成し、事前に討論者にメールで配布。討論者は必ず配布物を事前に読んでくる。 復習（120分）：報告者は討論者から指摘された点を調べ直し、より良い内容に仕上げる。
14	個人研究⑦：卒業論文作成のための個人研究。それぞれが自分の関心のある分野についてレジюмеを纏め、報告を行うことができるようになる。 予習（120分）：報告者は自分の関心のある事項について調べ、レジюмеを作成し、事前に討論者にメールで配布。討論者は必ず配布物を事前に読んでくる。 復習（120分）：報告者は討論者から指摘された点を調べ直し、より良い内容に仕上げる。
15	個人研究⑧：卒業論文作成のための個人研究。それぞれが自分の関心のある分野についてレジюмеを纏め、報告を行うことができるようになる。コンピテンス：B1, C1, E1, F1, F2, G1, H2, I1, K1, K2, L1, M1。 予習（120分）：報告者は自分の関心のある事項について調べ、レジюмеを作成し、事前に討論者にメールで配布。討論者は必ず配布物を事前に読んでくる。 復習（120分）：報告者は討論者から指摘された点を調べ直し、より良い内容に仕上げる。後期内に報告できなかった者は、合宿等において報告を行う予定。
関連科目	演習系科目としては、危機管理基礎演習I（RMGT2601）、ゼミナールI～IV（RMGT4601～4604）と関連する。
教科書	適宜指定する。
参考書・参考URL	
連絡先・オフィスアワー	■オフィスアワー：水曜日3限、金曜日3限 ■連絡先：開講時に告知する
研究比率	■危機管理学領域での対応 パブリックセキュリティ25%、グローバルセキュリティ50%、情報セキュリティ25% ■危機管理学と法学とのバランス 危機管理学80%、法学20%

